

## 家庭教育力の強化を図る

# 家庭・地域・学校が連携したPTA活動を目指して

## 日進市立梨の木小学校PTA

### 1 はじめに

本校は、西は名古屋市、東は豊田市に隣接し、ベッドタウンとして人口が増え続けている日進市の南端に位置している。学区内には名鉄豊田線の日進駅と米野木駅の二つの駅があり、利便性が良くマンションが連立している。今年度で創立20周年を迎えた本校は、全校児童630名、学級数は26学級（特別支援学級5学級を含）、PTA会員数は495名である。

学校の敷地内には「なしっこマウンテン」（学習林）や大きな二つの中庭、そして広大な畑があり、いつでも自然と親しむことができる。この特色ある環境を利用して、家庭・地域・学校が連携・協働し、健やかな子どもたちを育みたいと日々活動している。



【日進市立梨の木小学校校舎】

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

子どもたちの健やかな成長を願うのは、家庭も地域も学校も皆同じである。そこで、家庭・地域・学校が連携し、梨の木小学校ならではの環境を生かした活動に取り組んでいる。その活動の中で、親子で地域の方とのふれあう場を設け、保護者同士や地域の方と情報交換をすることが子育てを楽しめる一助となると考える。そして、より多くの方に参加してもらえるよう努めることで、更に連携を深め、家庭の教育力を強化できるような活動を進めていきたい。

#### (2) PTAの組織

PTA役員10名、委員31名の計41名で構成されており、委員は、研修部・広報部・校外活動部・地域連携部の4つの部のいずれかに所属している。研修部は親子イベント等の企画・運営、広報部はPTA新聞の発行、校外活動部は「0のつく日の登校見守り」、地域連携部は家庭教育推進協議会との連携をそれぞれ担っている。

### 3 実践活動の概要

#### (1) 親子のふれあいの場づくり

##### ① 「たけのこ掘り」

本校の敷地内には、「なしっこマウンテン」（学習林）がある。その林

には竹がたくさん生えており、毎年4月は絶好のたけのこ掘りの季節となる。数年ぶりの企画であったため、まずは、1週間前のPTA委員会後に地域の方からたけのこの掘り方や道具の使い方を教えていただいた。当日は、PTA役員が参加者に掘り方を伝授しながら学校の職員も一緒になって地上に少し頭を出しているたけのこを見つけては歓声を上げて懸命に掘り出していた。後日、参加した子どもたちが「夕食にたけのこを使ったおかずを並べて親子の会話がはずんだ。おいしかった。」とうれしそうに話してくれた。



【親子でたけのこ掘り】

② 「じゃがいも・玉ねぎ収穫」

日進市には、市から委託を受けている家庭教育推進委員会（家推「かすい」）が学区ごとにある。これは、それぞれの地域の特色を活かしてPTA・区・自治会などの地域団体と連携しながら活動しており、本校では、毎年6月にはじゃがいも・玉ねぎ、11月にはさつまいもの収穫をしている。この取組も

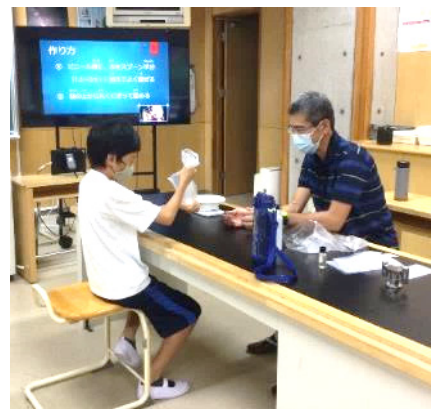


【じゃがいも・たまねぎ収穫】

地域の方が土作りから水やり、直前のつる切りまで施していただき、当日は収穫の仕方を教えてもらってから活動開始した。この日は、袋いっぱいの玉ねぎやじゃがいもを持ち帰り、その後この二つの具材を使って親子で料理をしたと報告があった。

③ 親子イベント「バスボム作り」

梨の木小では、毎年親子のイベントを企画していたが、2年間は新型コロナウイルス感染対策のため中止されていた。昨年度は、確実に取り組めるようZoomで北海道とつなぎ、「バスボム作り」を開催した。事前に材料をPTAで準備して配付し、当日は家庭にしながら参加できるようにした。Zoomで参加する家庭をつなぎ、なぜ固まるのか、泡が出るのかなど理科の学習をしながら楽しくバスボムを作った。早速、作ったものをお風呂に入れて一日の疲れを癒したと報告が多々あった。



【バスボム作り(ZOOMにて)】

④ 親子イベント「リアル謎解きゲーム」

コロナ禍を想定し、参加者が一同に集まることなく参加できる楽しいイベントを探したところ、このリアル謎解きゲームをPTA研修部が見つけた。これは、「密にならない」をテーマにした校内周遊型の謎解きゲームである。家族単位で体育館からスタートし、様々な教室に掲示してあるヒントを基に、隠しメッセージを解き明かすものだった。親子で参加することで、普段は入れない特別教室を、謎解きを協力しながら回ることができ、家庭での話題も増えたようだった。また、参加者の感想には「子どもだけでは解けない問題が多かったので、親子で協力する場面が多々あり、親子のコミュニケーションを深める時間になった」とあったように、親子で協力して謎解きをした時間は、普段の生活では経験できない貴重な時間となったようだった。



【リアル謎解きゲーム】

⑤ 草刈り

日進市では、令和3年度より「地域学校協働活動」が始まり、コーディネーターが中心となって様々なボランティア活動を企画し、地域とPTAが連携する場が増えた。本校では「草刈り」を企画し、おやじの会(なしっこサポーターズに今年度改名)も一緒に活動し、親子で草刈りをしながら地域の方と知り合いになるきっかけ作りができた。



【草刈り(地域の方と一緒に)】

⑥ 中庭の花壇づくり

いきもの委員会の活動の中で花壇作り(花の苗植え)があるが、子どもたちだけで活動すると、植え方が分からず適当に済ましてしまうことがあった。その活動時にPTAのボランティアが参加し、数多くの大人の目で子どもたちの植え方を見ることで、花がしっかりと根付くようになった。ここでも、親子で参加する姿も見られ、普段は庭で土を触ることのない子どもたちもこのときばかりは張り切って花の苗を植えていた。



【中庭の花壇づくり】



(2) 子どもたちの健康と安全を願って

① 青少年のネット安全・安心講座

県の委託事業者に「青少年のネット安全・安心講座～みんなのネットモラル塾～」を依頼し、子どもたちは各教室、保護者は別室にてそれぞれ Zoom で講習を受けた。夏休みを前に、子どもたちが巻き込まれやすいトラブルや危険性について具体的な例を示しながら注意点や対策方法を示された。また、家庭でのルールづくりについて学び、各家庭で話し合うきっかけとなった。



【ZOOMによるネットモラル塾】

② 体幹トレーニング

本校は、市内でも校内での負傷人数が全校児童数に対して割合が高いことが市内の養教でまとめているデータから判明した。これをきっかけに、学校保健委員会で、けがの予防のために講師を呼んで体幹トレーニングに取り組むことを企画した。その企画に保護者にも参加を呼び掛けたところ、PTA研修部を中心に保護者が数名参加した。トレーニングの内容はかなり厳しいものであったが、親子で共に汗をかき、家庭でも継続的に取り組んでもらえるきっかけをつくることのできた。



【親子で体幹トレーニング】

③ 通学路の安全を目指して

毎年、校外活動部が通学路の見直しについてアンケートを行っている。そこで、以前より保護者や地域住民から危険箇所として指摘されている学校横の交差点の安全確保について警察に要望を提出する運びとなった。PTAを中心に交通規制の要望の同意の署名運動を展開し、同時に交通量の調査を実施した。また、区長要望も提出していただき、まさしく、PTAと地域で子どもたちの安全確保のために協力しながら活動を進めている。この運動を進めていくに当たり、多くの保護者が通学路の危険について意識が高まった。

#### 4 おわりに

子どもたちは、家庭と学校、そして地域の中で、さまざまな人と触れ合いながら成長する姿を見せている。しかし、コロナ禍の中、家庭がますます孤立しがちになっている。そんなときこそ、家庭と学校、地域が連携・協働することで、家庭が孤立することなく、安心して子育てができるようになる。今後も、家庭の教育力の充実を図るために、本校ならではの教育環境を生かしながら、地域の方々と共にPTA活動を展開していきたい。